

Human Rights Concert - Struggle, Healing and Redemption

人権コンサート - 苦悩、癒し、そして贖い（あがない）

EVENT SUMMARY

“Music has the power to heal, to connect, and to open the future.” The documentary Prison Circle portrays individuals confronting their past while discovering recovery and renewal through dialogue and the strength of community. In much the same way, the great songs of blues, gospel, R&B, and pop carry stories of struggle, healing, connection, and the hope of redemption. This concert invites you to experience, through music, the meaning of recovery and human rights, and to share in the strength we need to move forward together.

「音楽は癒し、つながり、そして未来を拓く力。」
ドキュメンタリー映画『プリズン・サークル』は、人が過去と向き合いながら、対話と共同体の力によって回復と再生へと歩み出す姿を描いています。
その歩みと響き合うように、ブルースやゴスペル、R&B、そしてポップスの名曲には、試練を超えて癒され、つながり、赦しと希望へと向かう物語が刻まれています。
音楽を通して「回復と人権」の意味をともに感じ、未来を生きる力を分かち合いましょう。

“

There isn't time, so brief is life, for bickerings, apologies, heartburnings, callings to account.
There is only time for loving, and but an instant, so to speak, for that.

Mark Twain

かくも短き人生に 争い 謝罪し 傷心して
責任を追及している時間などない
愛し合うための時間しかない
それがたとえ一瞬にすぎなくても

マーク・トゥウェイン

ロイド・ウォーカー
ナレーター/ボーカル

2025 November 8

16:15-17:45 PM

11月8日（土）参加費無料

宮崎国際大学 国際交流センター

イベント詳細及び
プリズン・サークル上映会
のお申し込みは↓こちらから！



Lloyd Walker
Narrator/Vocal

Musicians



TETSUYA SUWAZONO

訪談園 哲哉(すわその てつや)

大学在学中にジャズ研究部に所属し、ジャズベースを始める。
その後ライブハウスなどで演奏を重ね、水谷浩章氏、松岡鉦一氏など様々なミュージシャンとの交流を深め研鑽を積む。現在もジャズオーケストラでの活動や県内の様々なバンドに参加しながら、自身のアレンジバンドによる演奏活動も行っている。



TOMOHIRO INOUE

井上智宏(いのうえ ともひろ)

1983年 宮崎県宮崎市出身
30歳までドラマー、ドラム講師として県内外の様々なアーティストのサポート演奏活動を行う。
ドラムコンテストや音楽・バンドコンテストも多数受賞。
2012年にドラゴンヘッド音楽スタジオ&ドラムスクール(現ドラゴンヘッド)をオープンし、楽器・音響レンタルなどイベントやコンサートの裏方として宮崎の音楽文化に携わる。



SATSUKI IMAMURA

今村 さつき(いまむら さつき)

4歳よりピアノを始め、植木純氏等に師事。東京音楽大ピアノ科を卒業。在学中よりアレンジやJAZZを学びながら、プレイヤーとして東京で演奏活動をスタート。宮崎に帰郷してからも県内外での演奏活動や国内外でのミュージシャンのサポートを行っている。クラシックは元より、ポップス、ジャズ、ボサノバ、シャンソンなど多彩なジャンルの中で活躍。サポートとして彼女を指名するミュージシャンも多く、東京で活躍中のシンガーソングライターRay Yamadaの国内ツアー、台湾ツアーへも参加している。宮崎県内ではチェロとのユニット「nagiSatsuki」としてCDを2枚リリース。
演奏活動と同時に、クラシックやポピュラーピアノ、弾き語りの指導。まほろば福祉会で音楽の講師としての指導にも力を入れている。音楽団体『The Gift of Music』代表



YUSUKE YANAGIDA

柳田 祐輔(やなぎだ ゆうすけ)

1987年宮崎県三股町出身。中学時代にプラスバンド部でチューバを経験した後、ギターに転向。
2006年、音楽活動のために上京。洗足学園音楽大学に入学し、ギターを有田純弘氏、梶原順氏に師事。音楽理論や作曲等についても学ぶ。在学しながら自己のバンドや、ホテルやカフェ等でのBGM演奏、新人歌手のサポート等様々な演奏活動を行う。2010年、洗足学園音楽大学ジャズコースを首席で卒業。東京神奈川を中心にLIVE、レコーディングのサポートや作曲等で精力的に活動する。2013年陸上自衛隊に入隊。2年9ヶ月の期間、健康駐屯地にて自衛官として勤務をした後退職。2016年、宮崎県を拠点に九州各地にて音楽活動を再開する。フラメンコやブラジリアンミュージック等のワールドミュージックや、ジャズ、ポップス等様々なスタイルでの演奏や、劇団、来宮するミュージシャンとの共演等、積極的に活動する。宮崎学園高等学校にて非常勤講師を勤める。

演奏曲

Act I - Struggle / 苦悩

The Thrill Is Gone - B.B. King

(スリル・イズ・ゴーン / B.B.キング)
失われた喜びと喪失感を深く歌い上げるブルースの名曲。

Bridge Over Troubled Water - Simon & Garfunkel

(明日に架ける橋 / サイモン & ガーファンケル)
苦しむ友に寄り添う慈愛のパラード。

A Change Is Gonna Come - Sam Cooke

(チェンジ・イズ・ゴナ・カム / サム・クック)
希望と社会変革への切なる祈りを込めたソウルの名曲。

Act II - Healing / 癒し

Lean on Me - Bill Withers

(リーン・オン・ミー / ビル・ウィザーズ)
支え合うことの温かさを伝えるソウルの定番。

You've Got a Friend - Carole King / James Taylor

(君の友だち / キャロル・キング / ジェイムス・テイラー)
どんな時も「友だちはここにいます」と伝える優しい歌。

Stand by Me - Ben E. King

(スタンド・バイ・ミー / ベン・E・キング)
不安な時にも寄り添う愛と友情のメッセージ。

Let It Be - The Beatles

(レット・イット・ビー / ザ・ビートルズ)
受け入れること、委ねることの強さを語る名曲。

I Wish I Knew How It Would Feel to Be Free - Nina Simone

(アイ・ウィッシュ・アイ・ニュー・ハウ・イット・ウッド・フィール・トゥ・ビー・フリー / ニーナ・シモン)
自由と癒しへの願いを込めたジャズ・スピリチュアル。

Act III - Redemption / 救済

He Ain't Heavy, He's My Brother - The Hollies

(ヒー・エイント・ヘヴィ・ヒーズ・マイ・ブラザー / ザ・ホルリーズ)
重荷を共に背負う兄弟愛の象徴。

Here Comes the Sun - The Beatles

(ヒア・カムズ・ザ・サン / ザ・ビートルズ)
長い冬の後に訪れる希望と再生の歌。

Feeling Good - Nina Simone

(フィーリング・グッド / ニーナ・シモン)
新しい朝を迎える喜びを高らかに歌う。

I Will Survive - Gloria Gaynor

(アイ・ウィル・サヴァイヴ / グロリア・ゲイナー)
逆境を越え、自分を取り戻す力強いアンセム。

Don't Stop Believin' - Journey

(ドント・ストップ・ビリーヴン / ジャーニー)
信じ続けることの勇気で幕を閉じる、希望のロック。

